

専門科目

A Z 建設環境工学専攻，環境都市・建築デザインコース

環境都市・建築デザインコースの学習・教育到達目標と教育課程

○ 教育目的

環境の保全と再生及び安全・安心で持続的発展が可能な社会を実現するため、幅広い視野と豊かな人間性をそなえ、環境都市デザイン並びに建築デザインとその応用分野に関する高度な知識と技術を身につけ、創造性と研究開発能力をもち、ものづくりを先導できる実践的専門技術者を育成する。

○ カリキュラム編成方針

次の方針でカリキュラムを編成しています。なお、科目の学年配置と科目間のつながりはカリキュラム表とカリキュラムの流れ図に示しています。

- 1) 本科教育を基礎にした高度な実践的技術教育：建設分野の専門基礎知識を基盤にして学際領域を含めた応用とそれを実験・研究に展開する技術教育
- 2) 技術者倫理：科学技術の自然や社会への影響を理解し、技術者として責任を自覚し行動できるように導く教育
- 3) 専攻共通科目：応用数学、応用物理などの工学基礎分野とエネルギー工学や情報工学など周辺の関連分野についての幅広い技術教育
- 4) 専攻専門科目：建設系科目、水工系科目、環境系科目、計画系科目のコア分野をさらに深化させる教育
- 5) 特別研究：創造性をはぐくみ、研究開発能力を養成する教育
- 6) 一般科目：幅広い視野と豊かな人間性をそなえ、国際的なコミュニケーション基礎能力を養成する教育

○ 教育方法

次の方法で教育を実施します。

- 1) マンツーマン指導も可能な少人数教育環境を生かし、質疑応答を主体にした密度の高い教育（講義、演習、実験、研究など）
- 2) 講義と実験・演習との効果的バランスにより、理論を実験で検証し、実験結果を理論的に解析するなど双方向的学习で高度な知識と創造性を養う教育
- 3) 特別研究を重視した教育、専攻科1年生前期から2年間、研究課題をもって計画的に研究を遂行し、得られた結果をまとめ、公表する、という一連の過程を通して研究開発能力・発表能力の養成
- 4) 技術者倫理教育の重視、技術者倫理の必要性、歴史的視点、安全性の面から教育
- 5) 学外研修や学外高等教育機関での履修など学生が自主的に行う学習の支援

専門科目 担当教員名簿

(環境都市・建築デザインコース)

教員所属：(Z) 環境都市・建築デザインコース

(所属) 職 名	氏名	担当科目	連絡先	
			研究室 (ダイヤルイン)	メールアドレス @hachinohe-ct.ac.jp
(Z) 教 授	矢口 淳一	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7305)	yaguchi-z
(Z) 教 授	南 将人	環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ、 海岸港湾工学	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7310)	minami-z
(Z) 教 授	藤原 広和	水理学特論	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7311)	fujiwara-z
(Z) 教 授	丸岡 晃	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ、 環境都市・建築デザイン工学演習Ⅰ	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7304)	maru-z
(Z) 准教授	杉田 尚男	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ、 構造解析学特論	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7313)	sugita-z
(Z) 准教授	清原 雄康	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ、 地盤工学特論	専攻科棟 3階 (27-7367)	kiyohara-z
(Z) 准教授	馬渡 龍		環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7309)	mawatari-z
(Z) 准教授	庭瀬 一仁	環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ、 建設材料学特論	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7307)	niwase-z
(Z) 准教授	金 善旭	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	環境都市・建築 デザインコース棟 3階 (27-7312)	kim-z
(Z) 助 教	今野 大輔	環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	環境都市・建築 デザインコース棟 1階 (27-7316)	dkonno-z
(Z) 嘱託教授	今野 恵喜	地域計画学特論、環境都市・建築デザイ ン工学演習Ⅱ	図書館ゼミナ ール室 (図書館2階) (27-7339)	konno-z

コース専門科目（環境都市・建築デザインコース）

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修科目	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	3	3				
	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅰ	1	1				
	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅱ	1			1		
	特 別 研 究 I A	2	2				
	特 別 研 究 II	10			5	5	
	開 設 単 位 計	17	6	0	6	5	
選択科目	環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	1		1			
	環境都市・建築デザイン工学研修	1		1			
	特 別 研 究 I B	5		5			
	構 造 解 析 学 特 論	2	2				
	海 岸 港 湾 工 学	2				2	
	水 理 学 特 論	2	2				
	地 域 計 画 学 特 論	2			2		
	建 設 材 料 学 特 論	2	2				
	地 盤 工 学 特 論	2	2				
	開 設 単 位 小 計	19	8	7	2	2	
	開設単位合計	36	14	7	8	7	
修得単位数62単位以上（一般科目11単位以上、専攻共通科目15単位以上、コース専門科目30単位以上）							

環境都市・建築デザインコース

専攻科(1～2学年) 開講科目の流れ図		
	専攻科1年	専攻科2年
CP1	特別研究 (○)	特別研究 (○)
CP2	環境都市・建築デザインコース実験 (○)	
	特別研究 (○)	特別研究 (○)
CP3		
	構造解析学特論 (◎)	
	建設材料学特論 (◎)	
	地盤工学特論 (◎)	
	水理学特論 (◎)	
		海岸港湾工学 (◎)
	環境都市・建築デザイン工学演習 (◎)	地域計画学特論 (◎)
	環境都市・建築デザインコース実験 (○)	環境都市・建築デザイン工学演習 (◎)
CP4	特別研究 (○)	特別研究 (○)
CP5	環境都市・建築デザインコース実験 (◎)	
	特別研究 (◎)	特別研究 (◎)
CP5	環境都市・建築デザインコース実験 (○)	
	環境都市・建築デザイン工学研修 (◎)	
CP5	特別研究 (○)	特別研究 (○)

CP1	学際的な視野と技術者としての素養を身につけるため、情報工学、環境エネルギー工学、日本文化史論などの科目を開講する。
CP2	横断的な共通知識の深化と技術者としての高い倫理観を身につけるため、応用数学、物理学要論、化学要論、技術者倫理などの科目を開講する。
CP3	得意とする専門分野の知識と技術を深化させるため、応用科目の講義と実験などの体験的授業を組み合わせたカリキュラムを編成する。また、課題設定・解決能力を育成するため、特別研究を実施する。
CP4	地域の課題に関心を深めるためにエンジニアリングデザイン、学外研修などの科目を設け、履修を奨励する。
CP5	国際的な発表・討議力、異文化理解力を身につけるために総合英語などの科目を開講するとともに、最大半年間の海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、特別研究の発表会では英語発表を行う。